

# 柏崎刈羽原発の再稼働許さない年に!

昨年8月に川内原発の再稼働を強行した政府は、「新規制基準に適合した原発から再稼働していく」として伊方原発、高浜原発、柏崎刈羽原発などの再稼働を急いでおり、予断を許さない緊迫した状況です。

## 許せない! 自治体への圧力 再稼働しないと交付金削減

政府は、2016年度から電力立地地域対策交付金の算定方式を変更。再稼働しなければ交付金を大幅に減額。

これに対し「再稼働に慎重な新潟県を狙い撃ちしたものだ」(古賀茂明さん)、「交付金制度によって『アメ』と『ムチ』を使い分け、立地自治体をコントロールしようとする国の姿勢は変わっていない」(新潟日報)など、厳しい批判の声があがっています。手段を選ばぬやり方で自治体に圧力を加えるのは許せません。

## 再稼働反対の声を大きく

福島第一原発の過酷事故は、原発が人類とは共存できないことを示しました。原発再稼働をストップさせるため、みんなの声をあげましょう。



## 「実効性ある避難計画なしに再稼働を認めるな」の請願

### 長岡市議会が不採択

原発ゼロ長岡市民ネット となりました。  
 は12月4日、「実効性ある避難計画なしに再稼働を認めるな」という趣旨の請願を、市民のみなさんから頂いた6436筆の署名を添え長岡市議会に提出。  
 12月18日の総務委員会で2対6で、21日の本会議でも6対27で不採択  
 市民の願いに背き請願を不採択とした会派・議員の態度は理解に苦しみます。

### 「実効性」とは程遠い長岡市の避難計画

長岡市は、12月15日に「避難計画」を発表。安定ヨウ素剤の配布問題、豪雪時の問題、避難経路の問題：等々、実効性とは程遠いものです。意見をどんどんあげていきましょう。

### 議員はもっと真摯に原発に向き合って!

#### 長岡市議会を傍聴して!

この度、請願書の賛否を問う総務委員会、本会議へと足を運び傍聴して参りました。

流れ作業の如く淡々と読み上げられる反対論：議論の余地なく賛成少数で否決となりました。これは命にかかわる大切な問題。何故福島島の教訓は生かされないのだろう…。市民の代表である議員の方々にはもっと真摯にこの問題に向き合い取り組んでほしい。多勢に無勢：永田町の国会と同じ。

「原発をなくすには原発反対派を選挙で選ばねば…」  
 かつて講師としてお呼びした秋山豊寛氏(宇宙飛行士)の言葉を思い出しました。

(藤井道子)



◆次回の街頭行動 2月11日(木・祝) 12:00~13:00 アオーレ前 ご参加を

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第50号 2016年1月11日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15

電話・FAX 24-2870

矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707